

浜銀総研 News Release



2017年10月25日

神奈川県内企業の来春の新卒採用計画

—— 企業経営予測調査（2017年9月）特別調査結果 ——

要 旨

【中堅・中小企業の新卒採用意欲が製造業中心に高まる】

神奈川県内中堅・中小企業の2018年春の新卒採用計画については、回答企業386社の採用予定者数が2017年春の実績を13.2%上回り、2008年春の採用計画（前年実績比17.4%増）以来10年ぶりの高い伸びとなった。製造業・非製造業別にみると、非製造業が同4.1%増と前年調査（同12.3%増）から伸び率を低下させた一方、製造業は同34.8%増と前年調査（同5.9%増）から大幅に伸び率を高めた。

【新卒採用予定者数は「確保できない」との回答割合が2007年以降最も高い】

採用予定者数の確保の見通しについては、「確保できない」とする企業の割合が38.6%となり、2007年以降で最も高い水準になった。来春の新卒採用は今春以上に困難になることが予想されている。

【必要な雇用人員確保のための対応】

新卒採用以外の方法で必要な雇用人員を確保するための対応策（複数回答）としては、「中途採用の実施」（77.5%）が最も多く、回答した企業の割合も2007年以降で最も高くなった。反面で、「特に対応せず」は11.6%と昨年に続き、2007年以降で最も低くなった。

【本件についてのお問い合わせ先】

(株)浜銀総合研究所 調査部 鹿庭雄介
TEL. 045-225-2375

(来春の卒業予定者の採用計画)

神奈川県内の中堅・中小企業に2018年春の新卒採用計画（2017年調査）について尋ねたところ、回答企業386社の採用予定者数は1,180人となり、2017年春の実績を13.2%上回り、2008年春の採用計画（2007年調査、前年実績比17.4%増）以来10年ぶりの高い伸びとなった。

製造業・非製造業別にみると、製造業は同34.8%増と高い伸びとなった。業種別には電気機械の採用予定者数が実績を下回るものの、それ以外の業種は前年を上回る計画となっている。なかでも、鉄鋼・非鉄や電子部品・デバイス、食料品は高めの伸びとなっている。一方の非製造業は同4.1%増と前年調査（同12.3%増）から伸び率が低下した。業種別には小売や建設が高い伸びとなった一方、飲食店・宿泊や卸売の採用予定者数が実績を下回った。

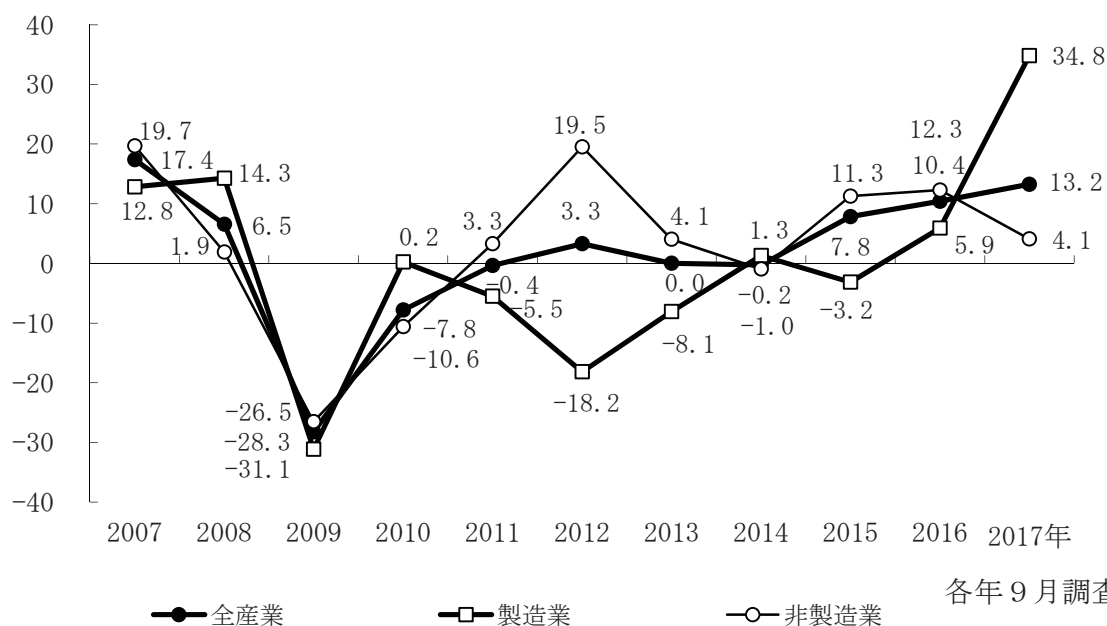
来春の卒業予定者の採用計画

区分	今春 採用者数 (人)	来春 採用予定者数 (人)	増加人数 (人)	増加率 (%)	回答 社数計 (社)	うち採用予定 のある企業数 (社)
全産業	1,042	1,180	138	13.2	386	209
製造業	310	418	108	34.8	162	96
非製造業	732	762	30	4.1	224	113

(注)回収総数 401 社のうち本設問に回答しなかった 15 社を除く集計値である。

新卒採用予定者増減率の推移

前年の実績比増減率、%



(新卒採用予定者数の確保見通し)

採用予定者数の確保の見通しについては、「確保できる」が10.2%となり前年調査の10.8%から低下した。また、「ほぼ確保できる」も51.3%と前年調査(53.3%)を下回った。その一方で、「確保できない」とする企業の割合は38.6%と2007年以降で最も高い水準になっており、来春の新卒採用は今春以上に困難になることが予想されている。

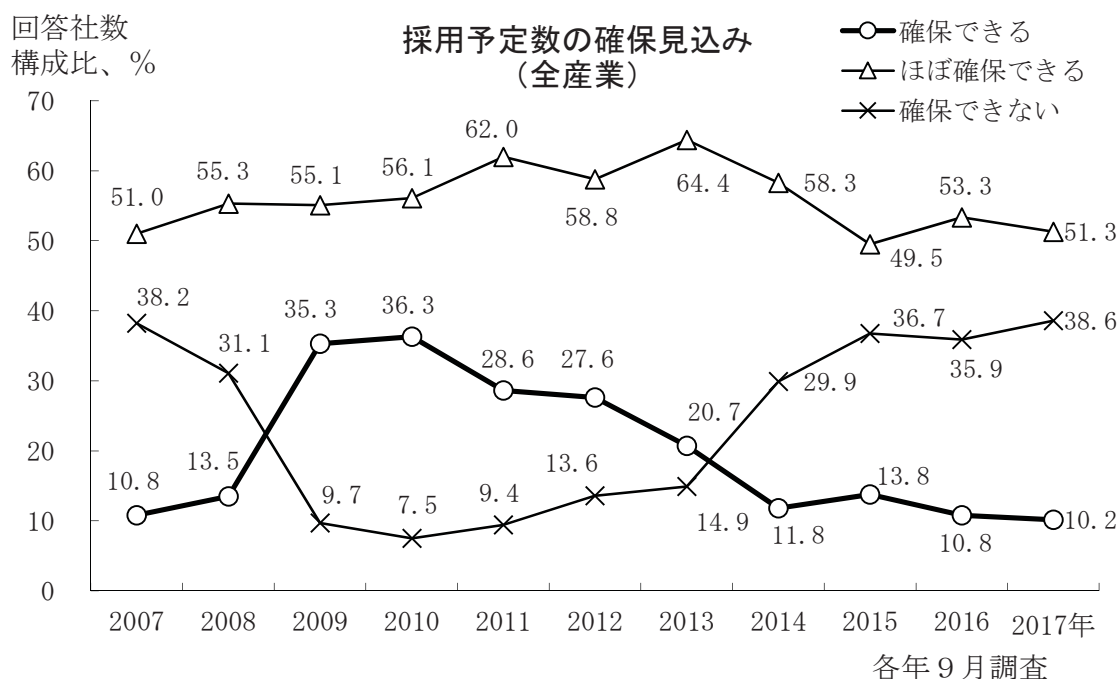
製造業・非製造業別に「確保できない」と見込む企業の割合をみると、製造業(35.2%)に比べて非製造業(41.5%)が高くなった。製造業では電気機械や金属製品が、非製造業では建設や卸売において「確保できない」と見込む企業の割合が高くなった。

来春卒業予定者の採用予定数の確保見込み

(上段：回答社数、下段：回答社数構成比、%)

区分	確保できる	ほぼ確保できる	確保できない	回答社数計
全産業	20 (10.2)	101 (51.3)	76 (38.6)	197
製造業	12 (13.2)	47 (51.6)	32 (35.2)	91
非製造業	8 (7.5)	54 (50.9)	44 (41.5)	106

(注)採用計画のある209社に対する設問。なお12社が未回答である。



(必要な雇用人員確保のための対応)

新卒採用以外の方法で必要な雇用人員を確保するための対応策を尋ねたところ(複数回答)、「中途採用の実施」と回答した企業が77.5%と最も多く、回答した企業の割合も2007年以降で最も高くなった。また「高齢者雇用の実施」と回答した企業の割合も25.1%と伸び率を高めている。

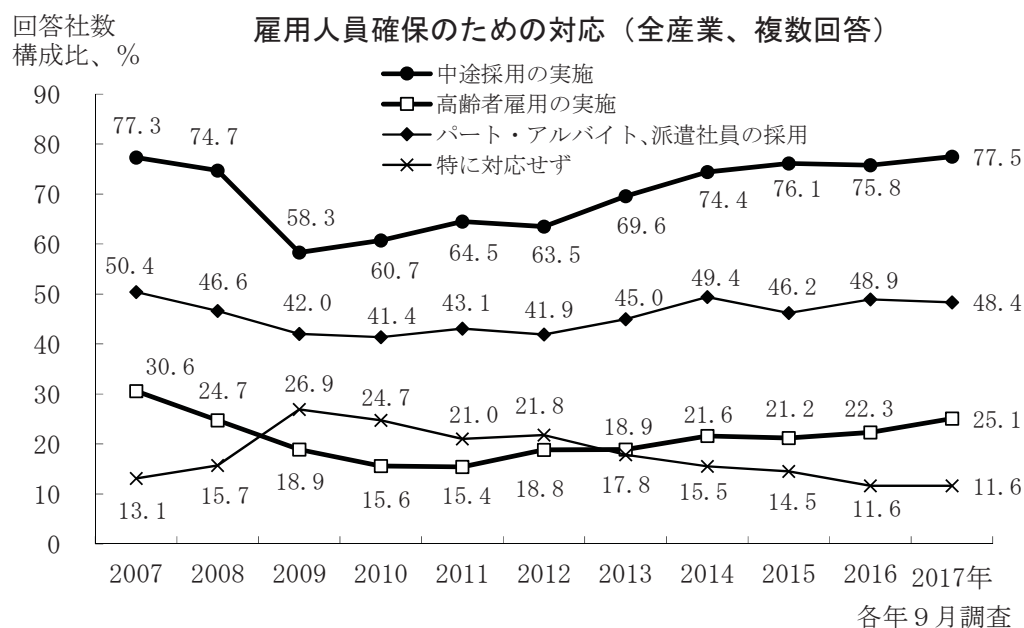
なお、「特に対応せず」と回答する企業の割合は2009年調査で急上昇した後は低下を続け、今回調査の11.6%は昨年に続き2007年以降で最も低くなった。

来春以降必要な雇用人員を確保するための対応(複数回答)

(上段：回答社数、下段：回答社数構成比、%)

区分	中途採用の実施	高齢者雇用の実施	パート・アルバイト、派遣社員の採用	特に対応せず	回答社数計
全産業	306 (77.5)	99 (25.1)	191 (48.4)	46 (11.6)	395
製造業	134 (82.2)	37 (22.7)	87 (53.4)	13 (8.0)	163
非製造業	172 (74.1)	62 (26.7)	104 (44.8)	33 (14.2)	232

(注)回収総数 401 社のうち本設問に回答しなかった 6 社を除く集計値である。



*本調査結果は、神奈川県内の中堅・中小企業に対して実施した企業経営予測調査(2017年9月)のなかで、特別調査として来春の新卒採用計画に関する質問を設け、その回答を集計したものである。(対象企業：神奈川県内の中堅・中小企業 1,191 社、回答企業 401 社、回収率 33.7%)

以上

本レポートの目的は情報の提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報原に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。